各 位

東京女子医科大学 学長 髙 倉 公 朋

救急医学講座主任教授候補者推薦について(依頼)

謹 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本学医学部では救急医学講座鈴木 忠 教授が平成 19 年 3 月 31 日をもって定年退職いたしますので、後任主任教授を選考いたすことになりました。

つきましては、救急医学全般に造詣が深く、救急医学に関する教育、研究、診療を推進できる方で、貴学ならびに関連の諸機関に候補者として適任者がおられましたら、ご 推薦賜わりますようお願い申し上げます。

後任主任教授には、本学大学院医学研究科教授(救急医学分野)と本学救命救急センター・救急医療科診療部長を担当していただきます。

ご推薦の際は下記書類を添付して下さい。

なお,候補者の方には選考過程で、ご来学の上、面接、公開講義をお願いする場合が あります。

謹白

記

1. 提出書類

(別紙1参照)

履歴書 1部

業績目録 1部

主要論文、別刷 10編

自己評価書(教育、研究、診療にわけ、各800字以内)

推薦書(複数可)

- 2.締め切り期日 平成18年11月12日(日)消印有効
- 3. 提出先 〒162-8666 東京都新宿区河田町 8 1

東京女子医科大学 学長宛

4 . 書類請求先 東京女子医科大学学務部医学部学務課

電話 03-3353-8111 (内線) 22112

本学のご案内および当該公募のお知らせは、本学ホームページ http://www.twmu.ac.jpのトップペラン ージをご覧下さい。

(別紙1)

必要な書類

- (1) 履歴書 -- 学歴、職歴、教育歴、研究歴、診療歴、その他に分ける。 (写真添付) 学会活動、研究費取得状況、受賞を添える。互いに重複 することは差し支えない。
- (2) 業績目録 -- 別紙様式(2)による。 これとは別の A4 版用紙に、主な原著論文 1 0 編を挙げ、 各々の論文の独創的な特徴について数行の説明を加え、10 編の別刷を 1 部づつ添付する。
- (3) 自己評価書 -- 教育、研究に関する自己評価および今後の抱負を A4 版に それぞれ 800 字以内で記載する。
- (4) 推薦書(複数可)人物について特に評価がなされていること。教育、研究に関する能力や実績が具体的にあげられていること。

業績目録

氏 名

.中心となる研究題目

.業績数	
1) 自著論文数	原著論文編 (英文編、邦文編)
a > ++-=+-	総 説 (英文編、邦文編)
2) 著書数	
3)共著論文数	原著論文編 (英文編、邦文編)
4 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	総 説 (英文編、邦文編)
4) 共著書数	
5)学会発表	A) 自演回 (国際回、国内回) B) 特別講演・シンポジウム・ワークショップなど
	回 (国際 回、国内 回)
光纬口包 / 苯	「女、却女於女女別カに」。 見近の矢次からの順に包載
•	至・邦文論文を別々にし、最近の年次からの順に記載。 「者名は全員記載。本人の名前に下線を付す。雑誌名に下線を付す。)
1) 自著論文	10日は主兵記載。 4人の10日前に下級で刊り。 #1記日に下級で刊り。 /
	irst authorになっている論文、またはcorrespondence authorとして明記されて
	できて dutilot になっている論文、なたは correspondence dutilot こって初記とれて にとする。)
原著	
1)	
2)	
·	
邦	『文論文
1)	
2)	
•	
総説	. (著者名、題名、雑誌名、巻、頁、年)
英	文総説
1)	
2)	
•	
	3文総説
1)	
2)	
・	· 보선 · 보선 · 비뜨겁 · 佐 ›
	音者名、書名、出版社、年) 三文著書
1)	.又有音
2)	
•	
	3文著書
1)	
2)	
•	
	(自著論文に記載した論文を除く。本人が実質的な研究指導にあたった論文に
,	を付す。)
原著	· (著者名、題名、雑誌名、巻、頁、年)
	文論文

```
1)
     2)
     ... •
      邦文論文
     1)
     2)
     .... •
     総説 (著者名、題名、雑誌名、巻、頁、年)
      英文総説
     1)
     2)
     .... •
      邦文総説
     1)
     2)
4) 共著書 (著者名、書名、分担項目名、出版社、年)
      英文著書
     1)
     2)
     ... •
      邦文著書
     1)
     2)
5) 学会発表 (国際学会、国外・国内での特別講演・シンポジウムおよびワークショップなど、
        重要なもので本人が口演したもののみ)
    (A) 通常の学会
    (B) 特別講演・シンポジウム・ワークショップなど
```

.用紙 A4版用紙(この用紙に同じ)使用